

桑名市子ども・子育て支援事業計画（仮称）の柱立ての検討

基本理念

計画の柱立て（基本目標）

課題から考えられる施策の方向性【例示】

※計画の柱立て(基本目標)については、3～5項目でまとめてください。

- 核家族化の進展や、ひとり親家庭の増加等の要因より、子育て支援の充実や地域ぐるみの子育ての推進
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- 就労を希望する母親が働きながら安心して子育てできる環境の整備
- 幼児期における教育・保育の充実
- 施設・事業の利用者の利便性向上
- 就学前の子どもの社会性や協調性の醸成
- 子どもが安心して過ごせる居場所や遊び場の確保
- 男女が協力して子育てできる環境の整備
- 小児医療や病児・病後児保育の充実
- 子育てに関する積極的で多角的な情報提供、親の安心につながる相談窓口の充実
- 子育てに関する親の自己肯定感を後押しするような施策（子育て講座等）の充実
- 子育て中の親を孤立させないよう、親同士の交流の場や相談の場の充実
- 地域における子どもの安全の確保や見守り体制の充実
- 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実、関係機関との連携
- 放課後児童クラブのハードとソフトの両面における充実
- 学校－地域－親とのつながり
- 子育てをしながら自己実現できるよう女性の自主的な活動の支援
- 限られた予算で取り組む中で、優先順位をつける必要性

【参考】次世代育成支援後期行動計画の体系図

